

保護者の皆様

平成29年度 練馬区立豊玉第二小学校 学校評価及び学力調査の結果について

練馬区立豊玉第二小学校
校長 佐野 匡

日頃より、本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り、ありがとうございます。
さて、昨年12月に実施いたしました学校評価アンケートの集計結果が下記のとおりとなりましたのでお知らせいたします。学校評価アンケートの結果を謙虚に受け止め、より一層、信頼される学校づくりに努めてまいります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

※今年度の保護者の皆様からの学校評価アンケートの回収率は、96%を超えております。今後とも皆様の意見をより反映させていくように努めてまいります。

【下記一覧表の数字について】

A よくあてはまる B あてはまる Cあまりあてはまらない D ほとんどあてはまらない ※わからない（保護者・地域・教職員）のうちA及びBの肯定的な評価の割合
A よくあてはまる B あまりあてはまらない C わからない（児童）のうちAの肯定的な評価の割合

【字体の意味について】

太字の数字…昨年度と比較して5ポイント以上肯定的な評価の割合が増加した項目
太字斜体の数字…昨年度と比較して5ポイント以上肯定的な評価の割合が減少した項目

四者による学校評価アンケート結果	保護者			低学年			高学年			地域			教職員			◇学校の自己評価と三者の比較 ◆学校評議員からの意見 ☆学校の来年度の取組				
	29年度	28年度	差	29年度	28年度	差	29年度	28年度	差	29年度	28年度	差	29年度	28年度	差					
	283名	278名	*H29 -H28	135名	144名	*H29 -H28	161名	141名	*H29 -H28	4名	3名	*H29 -H28	20名	17名	*H29 -H28					
学校全体	1	【学校の教育目標】 ○学校の教育目標や指導の重点は、子どもや地域の実態に合った適切な内容となっている（保護者・地域・教職員）	86.3	85.5	0.8								100.0	100.0	0	85.0	100.0	-15	◇保護者・地域・教職員の評価とも肯定的な評価の割合が95%を超えており、学校の教育目標や指導の重点はおおむね子供や地域の実態に即したものである。 ☆全教職員の理解の下、全教育活動を通じて知・徳・体の調和の取れた人間性豊かな子供の育成に努める。	
	2	【学校生活の様子について】 ○子どもたちの学校での様子は楽しそうである（保護者・地域・教職員） ○学校は楽しいですか。（児童）	94.3	95.3	-1	75.7	86.8	-8.3	73.8	70.2	3.6	75.0	100.0	-25	100.0	100.0	0	◇保護者・教職員の評価とも肯定的な評価の割合が高いものの、地域は25ポイント下がっている。児童の評価においては、低学年において、肯定的な回答が8.3ポイント下がったが、高学年においては3.6ポイント上がっている。		
	3	【学校生活の様子について】 ○子どもたちは仲良く、学校生活を送っている（保護者・地域・教職員） ○あなたは、友達と仲良くしていますか（児童）	90.1	93.9	-3.8	79.2	90.3	-11.1	90.8	82.3	8.5	75.0	100.0	-25	95.0	82.3	12.7	◇保護者・教職員ともにおおむね肯定的な評価の割合が高いが、地域は25ポイント下がっている。低学年児童では、11.1ポイント低くなっている。 ☆引き続き、教師と児童の信頼関係及び児童相互の好ましい人間関係を確立し、一人一人の人格を尊重するとともに、学級経営・学習指導の充実を図る。		
	4	【教職員の対応について】 ○教職員は誠実に子どもや保護者（地域の方）に接している。（保護者・地域・教職員） ○先生はあなたのことをよく考えたり、話を聞いていたりしてくれますか。（児童）	95.1	91.7	3.4	75.7	84.0	-8.3	76.6	71.6	5	100.0	100.0	0	100.0	100.0	0	◇保護者・地域・教職員ともに肯定的な評価の割合が高く、おおむね教職員が誠実に対応できている結果となっている。児童の評価においては、低学年が8.3ポイントの減少、高学年は5ポイントの増加となっている。 ☆自己意識が高まる高学年児童に対しては、いろいろな場面において多くの教職員で見守り、関わっていく。引き続き、担任、副担任はもとより、養護教諭、スクールカウンセラー、心のふれあい相談員との連携を一層深めていく。		
	5	【学校生活の様子について】 ○子供たちは、進んであいさつをしたり、正しい言葉遣いをしている（保護者・地域・教職員） ○あなたは、進んであいさつをしたり、正しい言葉遣いをしていますか（児童）	60.2	60.8	0.6	69.4	79.9	-10.5	66.7	63.1	3.6	75.0	33.3	-8.3	15.0	23.2	-8.2	◇保護者・地域・教職員ともに肯定的な評価の割合が低い。本校の課題であるが、昨年と比較し保護者1ポイント、低学年9ポイント上がっている。高学年児童は7.2ポイント減少している。 ◆あいさつは声をかけるとして。保護者にも、声かけをしてほしい。 ☆今後も教師自身が気持ちのよいあいさつを率先垂範する。日常の学校生活での指導はもとより、あいさつ運動の取組を継続・工夫して行い、指導の充実を図るとともに保護者にも家庭での啓発を一層推進する。		
	6	【学校と保護者・地域の連携について】 ○保護者は全体的に学校に協力的である（保護者・地域・教職員）	83.8	84.5	-0.7									100.0	100.0	0	75.0	88.2	-13.2	◇保護者・地域ともに肯定的な評価の割合が高いが、教職員は13.2ポイント下がっている。 ◆保護者会等へ出席する保護者が少ない。多くの保護者が参加するように工夫してほしい。 ☆家庭・地域との連携・協力を一層重視し、地域に開かれた取り組みを推進する。また、家庭との連絡・相談・協力を大切にしながら、学校、家庭の教育力を最大限に発揮できるよう情報を発信し、啓発及び共通理解を図る。
	7	【学校の教育活動について】 ○学校の教育活動には満足している（保護者・地域） ○あなたは豊玉第二小学校が好きですか（児童） ○学校の教育活動は充実している（教職員）	90.1	88.1	2	75.7	83.3	-7.6	72.3	70.2	2.1	100.0	100.0	0	80.0	100.0	-20	◇地域、保護者ともに学校の教育活動に対し、肯定的な評価の割合が高い。教職員も充実した活動が行われていると感じている。児童の評価においては、高学年児童は肯定的な評価の割合が7割を超えているが低学年では、7.6ポイント下がり、割合下がった。 ☆学級における指導を基盤とすることはもとより、全教職員で児童を見守っていくことで人間関係を一層深め、楽しく学び合い、友達と仲良く関わり合うための学習指導力の向上及び学級経営の充実を図る。		
	8	【学校の教育環境について】 ○学校の教室や廊下、特別教室、校庭などの環境整備は行き届いている（保護者・地域・教職員）	92.1	92.8	-0.7									75.0	100.0	-25	50.0	70.6	-20.6	◇保護者・地域ともに肯定的な評価の割合が高い。しかし、教職員は13.2ポイント減少し、肯定的な評価は7割程度である。 ☆清掃や手入れが行き届き、整頓された校舎、施設・設備であるよう、校舎、校庭、校内施設・設備に係る月1回の安全点検を実施するとともに、充実した運動や大掃除等の機会を活用しながら、児童の清掃活動の充実を図り、安全・安心で、気持ちよく学習ができる環境の整備に努める。
	9	【学習について】 ○学校は、子どもの学力の定着・向上のために工夫した授業を行っている。（保護者・地域・教職員） ○学校の勉強は、よく分かりますか。（児童）	84.7	88.5	-3.8	73.6	86.8	-13.2	91.5	77.3	14.2	75.0	66.7	8.3	85.0	76.5	8.5	◇低学年における肯定的な評価の割合が13.2ポイント減少した。教職員は8.5ポイント、高学年児童は14.2ポイント増加した。 ☆若手の教員が増えたことを鑑み、教員の学習指導力の向上に努め、児童がより理解しやすい指導体制を工夫するとともに、標準時数を上回る十分な指導時間を確保する。また、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着に努める。また、家庭学習の習慣が身に付いていない児童が多いことから、家庭での学習習慣の定着を啓発していく。		
	10	【生活指導】 ○授業は、話の聞き方や発表の仕方等のルールが守られており、落ち着いた雰囲気の中で学習が進められている（保護者・地域・教職員） ○あなたは、学校のきまりを守って、落ち着いた勉強や生活をしていますか（児童）	77.4	77.0	0.4	72.2	78.5	-6.5	70.2	62.4	7.8	25.0	33.3	-8.3	75.0	41.2	33.8	◇低学年は6.5ポイント減少したものの、高学年は7.8ポイント増加、教職員においては7割と肯定的な評価の割合が増加した。児童の自主性、自律性、規範意識をさらに高める必要がある。 ☆一人一人の人格を尊重しながら規範意識をはぐくむなどの資質や行動力を高めるため、学級経営の充実を図る。あいさつの仕方や学習のきまりを教員同士で共通理解を図り再確認するとともに、指導内容を統一し、毅然とした対応に努める。学校での指導だけでは限界があるため、家庭への啓発、地域との協力を一層働きかけていく。		
	11	【少人数指導】 ○3年生以上の算数少人数指導は学習の定着に効果をあげている（保護者・地域・教職員）	55.4	67.6	-12.2									50.0	33.3	16.7	35.0	41.2	-6.2	◇保護者・教職員・地域においては少人数指導への肯定的な評価が下がっている。 ☆児童にとって、少人数指導は定着してきたが、教職員の「わからない」という評価に対し、児童の学習内容の定着についての効果の検証や、児童自身による評価について、今後はもっと明らかにしていく必要がある。
	12	【朝学習】 基礎学習、読書タイムが効果をあげている（保護者・地域・教職員）	69.3	68.4	0.9									50.0	66.7	-16.7	40.0	35.3	4.7	◇保護者においては朝の基礎学習、読書タイムについて肯定的な評価の割合は7割程度であるが、教職員の評価が4割である。 ☆教職員の肯定的な評価が低い理由の一つは、効果が明らかではないということからだが、朝学習の方法を教員間で共有するなど研修を実施し、漢字・計算等の反復的な学習がマンネリ化しないよう計画的に実施する。また、学校図書館の書籍を増やすとともに、活用が図られるよう環境整備に努める。
	13	【道徳教育】 ○学校では、道徳の時間を含めた全教育活動をおして、命を大切にすることや思いやりの心をもつ指導に努めている（保護者・地域・教職員） ○あなたは命や人の気持ちを大切にしていますか（児童）	83.3	77.7	5.6	77.1	91.7	-14.6	87.2	86.5	0.7	65.0	33.3	31.7	87.2	88.2	-1	◇保護者・教職員・児童ともに肯定的な評価が高い。地域も31.7ポイント上がっている。 ☆引き続き、道徳の時間の指導方法の工夫・改善を推進することはもとより、道徳の授業公開や道徳授業地区公開講座の内容を吟味するとともに周知活動を活性化し、道徳教育について家庭や地域との連携を深めるため、児童・保護者・地域が一体となって参加できる環境づくりに努める。		
	14	【特別活動】 ○運動会や学芸会、宿泊を伴う行事などでは、友達と協力したり、一人一人の個性が発揮されたりするような場が設定されている（保護者・地域・教職員）	95.8	94.6	1.2									95.0	100.0	-5	95.0	100.0	-5	◇保護者・地域・教職員ともに肯定的な評価の割合が高い。今後とも、一人一人のよき個性が発揮され、自己有用感や成就感を培っていただけるような内容を工夫していく。 ☆学校行事は2学期制の特徴である長い学習スパンの中で、年間の中／間／末よく配置することが必要であると考え、次年度に向けて、児童にとって負担にならないよう、計画を進める。

学校生活全般	15	【特別活動】 ○学校は、学校行事やクラブ活動、児童会活動(生徒会活動、部活動)の活性化に努めている(保護者・地域・教職員) ○運動会や学芸会などの行事は楽しいですか(児童)	98.4	97.9	0.5	88.9	91.7	-2.8	96.5	80.9	15.6	100.0	100.0	0	100.0	94.7	5.3	◇児童・保護者・地域・教職員ともに肯定的な評価の割合は高い。児童の評価においては、低学年が2.8ポイントの減少となっているが、高学年では15.6ポイント増加している。引き続き、学校行事を含めた特別活動に主体的に参加できるよう、指導していく。 ☆活躍できる場を意図的・計画的につくっていく。児童の責任感及び自己有用感、成就感を高めたいと考えている。学校行事はもとより、委員会活動の仕事内容の見直し、魅力あるクラブ活動の創設、より自主的な児童会活動など、所屬するすべての児童が責任を果たしたり、成就感が得られたりするよう工夫する。	
	16	【学校公開】 授業参観や学校公開日、各種行事の実施日は、保護者や地域の方ができるだけ参加しやすい曜日に設定されている(保護者・地域・教職員)	90.0	93.1	-3.1								95.0	100.0	-5	95.0	94.7	0.3	◇保護者・地域・教職員の評価とも肯定的な評価の割合が9割を超えており、実施日としては妥当であると考えられる。 ☆引き続き、第二土曜日の授業日を中心に、学校公開、各種行事等を年間バランスよく配置する。
	17	【学校生活】 ○学校は秩序があり、子供たちはノーチャイムの生活で自立心、自律性をはぐくみ、落ち着いて学習している(保護者・地域・教職員)	81.7	83.1	-1.4								100.0	100.0	0	75.0	64.7	10.3	◇保護者・地域ともに肯定的な評価の割合が高い。教職員の肯定的な評価は10.3ポイント増加している。学校として共通理解のもと、指導に努めることさらに改善が図られると考えている。 ☆今後も、本校の特色として、生活指導と運動して、自立心・自律性をはぐくみ、主体的に考えて行動できる児童を育成するために、ノーチャイム及び学校のきまりを基本としてよりよい生活習慣、学習規律等、望ましい学校生活の充実を図る。
	18	【防災教育】 ○学校は災害に対する知識や、自分の安全を守るための対処の仕方などを身に付けさせるとともに、適切な行動選択ができるよう努めている(保護者・地域・教職員)	88.4	90.7	-2.3								100.0	100.0	0	95.0	100.0	-5	◇保護者・地域・教職員の肯定的な評価の割合は8割を超えている。 ☆地震、火災、火山、気象、原子力、避難所、備えなど防災に関する指導の充実を図る。また、避難訓練の内容について様々な状況を想定して計画・実施非常災害時に的確な思考・判断に基づく適切な意思決定や行動選択ができるようにする。
	19	【危険予知・回避】 ○学校は、事件や事故を未然に防ぐために、具体的な取組(名札の着用、情報モラル講習会、引渡し訓練)や実地訓練の充実を図っている(保護者・地域・教職員)	94.2	91.7	2.5								100.0	66.6	33.4	90.0	76.4	13.6	◇保護者・地域・教職員ともに肯定的な評価は9割であった。学校と地域、家庭の連絡体制を充実させることはもとより、教職員の危機管理意識が高いことがうかがえる。 ◆さらにすすめてほしい。 ☆学校安全安心ボランティアの人数が増加し、日常の安全管理の体制が整ってきている。引き続き、募集に努める。また、情報モラル講習会、不審者侵入訓練の内容の充実を図るとともに、学校ホームページや練馬区学校連絡メール等を活用し、保護者及び学校関係者に日常の危機管理に係る迅速な情報提供に努める。
情報発信・家庭・地域との連携	20	【広報】 ○学校は、学校や子どもたちの様子をわかりやすく伝えている(保護者・地域・児童・教職員)	86.3	83.8	2.5							100.0	100.0	0	75.0	82.4	-7.4	◇おおむね肯定的な評価であるが、教職員は7.4ポイント減少した。 ◆学校の情報発信が少ない。ホームページに学校の児童の様子についてもっと掲載をお願いしたい。 ☆学校だより、学年・学級だよりなどの充実をもとより、学校ホームページの閲覧を定着させるための工夫に努め、定期的に更新する。また、ホームページやメールなどの周知だけでなく、学校掲示板を活用し、紙ベースでの周知についても継続していく。	
	21	【学校と保護者・地域の連携】 ○学校は家庭や地域との連携に積極的に取り組んでいる(保護者・地域・教職員)	89.7	85.3	4.4								100.0	100.0	0	85.0	100.0	-15	◇昨年よりポイントも上がり全体的に肯定的な評価の割合が高いが、教職員は15ポイント減少した。 ☆保護者との連携を密にするともに、保護者会や家庭訪問、個人面談の時間を十分に確保し、内容の充実を図る。地域行事が第二土曜日の授業公開と組み合わせることにより、午後の時間を使っている教員の参加を促すことができる。
	22	【学校と保護者・地域の連携】 ○学校が行う保護者や地域の方に対する説明会等は、会の持ち方や回数、内容について適切であると考えている(保護者・地域・教職員)	81.7	82.0	-0.3								100.0	100.0	0	90.0	76.5	13.5	◇全体的に肯定的な評価の割合が高い。特に教職員は、13.5ポイント増加した。 ◆学校の教員が地域に進んで参加するようになってきた。 ☆説明の時期、回数、内容の検討だけでなく、ホームページや練馬区学校連絡メール、学校掲示板等を有効活用するなど、方法についても改善を図る。また、不審者に係る情報及び災害安全に係る情報等、緊急性の高い情報についても速やかに提供できるように引き続き努めていく。
健康教育	23	【健康教育】 ○学校は、子どもの体力向上や健康教育の促進に積極的に取り組んでいる(保護者・地域・教職員) ○学校では、たくさん運動したり、健康に気を付けて生活していますか(児童)	91.3	91.0	0.3	72.2	85.4	-13.2	82.3	75.2	7.1	100.0	100.0	0	90.0	100.0	-10	◇保護者・地域・教職員における肯定的な評価の割合は高い。また、進んで運動していると答えた児童の割合が低学年で13.2ポイント減少し、高学年で7.1ポイント増加した。 ☆引き続き、体育朝会の内容を充実させるとともに体力向上月間、元気アップ週間、運動会講習会などの取組を通じて体力の向上を図るとともに、児童主体の体育集会の取組も充実させていく。	
小中一貫教育	24	【小中一貫教育】 ○小・中学校間の円滑な接続を図るために小中一貫教育を推進し、有効な取り組みが行われている。(保護者・地域・教職員) ○中学校のことがわかり、中学校生活に意欲がもてましたか。(児童5・6年生のみ回答)	57.7	75.9	-18.2				70.0	66.0	4	100.0	66.7	33.3	85.0	82.3	2.7	◇保護者の評価では18.2ポイント下がった。教職員の評価も昨年度と比較して少し上昇した。児童の評価も4ポイント上がっている。保護者の評価は、18.2ポイント下がった。 ☆今後、さらに小中一貫教育の取組が進むよう定期的、計画的な中学校との交流・連携を行う。また、保護者に対しては、連携の成果についてきちんと報告していくようにする。	

＜本年度の学校改善へ向けた校長の見解＞

本年度の保護者の学校評価アンケートの回収率は96%という高い数値でした。アンケートの回収にご協力いただき、ありがとうございました。
各項目の数値は全体としておおむね昨年度と同様の結果となりました。昨年度と比較すると、今年度は低学年児童の肯定的な評価の割合が高い傾向となりました。特に、児童のあいさつ及び規範意識については昨年同様、今年度新たに、学力の向上及び朝学習の工夫については本校における大きな課題であることがわかりました。教員の指導力向上を学校組織として積極的に努めてまいりますが、あいさつや規範意識等についてはご家庭でのご指導も併せてお願いいたします。
今年度、地域の方からのアンケートの回収率が低かったことを反省として、学校として、さらにいろいろな情報を積極的に発信し、学校の教育活動を理解してもらい、開かれた学校づくりに努める所存です。これらの結果を謙虚に受け止めるとともに、学校評議員会の意見を踏まえ、次年度の教育課程に十分に反映させてまいります。

平成29年度 学力調査の結果について

5年生が実施した児童・生徒の学力向上を図るための調査(東京都)と6年生が実施した全国学力調査(全国)の結果について記載します。本校児童の各教科の結果と、東京都及び全国の平均との比較となります。%の数字は正答率になります。5年生は、国語・社会・算数・理科の4教科、6年生は国語・算数の2教科の結果となります。

【5年生の結果】	A 教科の内容		B 読み解く力に関する内容	
	本校	東京都	本校	東京都
国語	62.5%	67.5%	67.4%	71.7%
社会	74.4%	76.1%	56.1%	61.9%
算数	64.5%	63.7%	49.2%	47.9%
理科	63.6%	69.4%	74.8%	78.9%

【6年生の結果】	A 主として知識			B 主として活用		
	本校	東京都	全国	本校	東京都	全国
国語	73.0%	76.0%	74.8%	58.0%	60.0%	57.5%
算数	83.0%	81.0%	78.6%	52.0%	49.0%	45.9%

